(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第4320090号
(P4320090)
(45)発行日　平成21年8月26日(2009.8.26)　(24)登録日　平成21年6月5日(2009.6.5)

(51)Int.Cl.　F I
D06F 58/18 (2006.01)　D06F 58/18 A

請求項の数 1 (全 7 頁)

(21)出願番号　特願平11-241594
(22)出願日　平成11年8月27日(1999.8.27)
(65)公開番号　特開2001-62199(P2001-62199A)
(43)公開日　平成13年3月13日(2001.3.13)
審査請求日　平成18年4月7日(2006.4.7)

(73)特許権者　000002174
積水化学工業株式会社
大阪府大阪市北区西天満２丁目４番４号
(72)発明者　吉江　隆仁
茨城県つくば市和台３２　積水化学工業株式会社内
(72)発明者　油淺　喜東
茨城県つくば市和台３２　積水化学工業株式会社内

審査官　山田　由希子

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ランドリーユニット及びその設置構造

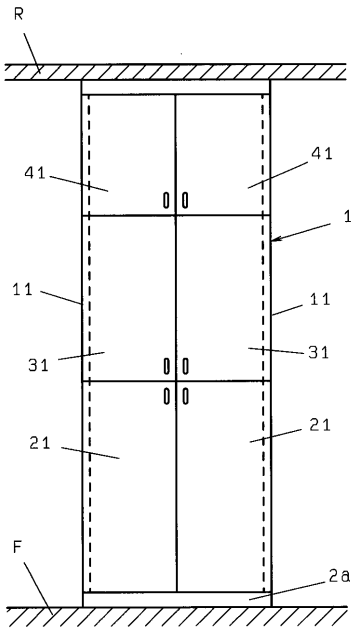
(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
洗濯機収納スペースの上方に収納スペースが一体に設けられてランドリーキャビネットが形成され、ランドリーキャビネットの前方の開放側に吸気孔が設けられた扉が取り付けられ、背面側に排気孔が設けられた背板が取付けられ、背板と建物の壁体との間に通風路が形成されるように間隙を設け、通風路が形成された建物の壁体に換気扇が設けられていることを特徴とするランドリーユニットの設置構造。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、住宅用のランドリーユニットおよびその設置構造に関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来から住宅用ランドリーユニットとして、図７に示すように洗濯機１０１を収納したキャビネット１０２の天板１０３上に乾燥機１０４を載置したものが用いられている。このランドリーユニットは洗濯機収納スペースの底面部にスライド載置台１０５が設けられ、このスライド載置台１０５に洗濯機１０１が載置されたもので、洗濯物を入れたり取り出したりするときにキャビネット１０２の扉１０６を開いて洗濯機１０１全体を前方に引き出して洗濯物の出し入れを行い、洗濯中もしくは不使用のときには洗濯機１０１をキャビネット１０２内に収納しておき、洗濯機１０１の回りの雑然さを隠すようになっている。

【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、上記従来のランドリーユニットにあっては、洗濯機１０１の回りがすっきりしても、キャビネット１０２の天板１０３に載置された乾燥機１０４は、露出した状態であるので外観上見苦しいという問題があった。また、乾燥機１０４から排出された湿気が洗濯室内に籠もり易く、室内の壁や天井にカビが発生し易いという問題もあった。
【０００４】
本発明は、このような事情に鑑みて、乾燥機から排出された湿気が洗濯室内に籠もらないようにして、しかも洗濯機や乾燥機を収納して美観を損なわないランドリーユニット及びその設置構造を提供することを目的としている。
【０００５】
【課題を解決するための手段】
このような目的を達成するために、請求項１記載のランドリーユニットの設置構造は、洗濯機収納スペースの上方に収納スペースが一体に設けられてランドリーキャビネットが形成され、ランドリーキャビネットの前方の開放側に吸気孔が設けられた扉が取り付けられ、背面側に排気孔が設けられた背板が取付けられ、背板と建物の壁体との間に通風路が形成されるように間隙を設け、通風路が形成された建物の壁体に換気扇が設けられていることを特徴とするものである。
【０００７】
【作用】
請求項１記載のランドリーユニットでは、ランドリーキャビネットの前面側に吸気孔が設けられた扉が取り付けられ、背面側に排気孔が設けられた背板が取付けられ、背板と建物の壁体との間に通風路が形成されるように間隙を設け、通風路が形成された建物の壁体に換気扇が設けられているので、前面扉の吸気孔から入った空気はランドリーキャビネット内で発生した湿気とともに背板の排気孔から通風路を通って換気扇により建物の壁体外に排出される。
【００１０】
【発明の実施の形態】
【００１１】
図１～図２の参考例において、１はランドリーキャビネットで、このランドリーキャビネット１は、建物の壁体Ｗに接して設置されており、高さ寸法が床Ｆから天井Ｒまでの高さとほぼ同じであって、奥行き寸法がランドリーキャビネット１内に収納される洗濯機２や乾燥機３の奥行き寸法よりやや大きくなるように箱型に形成されている。
【００１２】
また、前記ランドリーキャビネット１は、左右の側板１１，１１と天板１２ならびに背板１３とで外側が形成されており、内部は、二枚の仕切り板１４、１５によって上下３つの収納スペースに仕切られている。
【００１３】
一番下の収納スペースは、洗濯機２が収納される洗濯機収納スペース２０であって、前方の開放部分が一対の扉２１、２１によって開閉できるようになっており、底面部に洗濯機２の載置可能なスライド載置台２ａが設置されるようになっている。
【００１４】
洗濯機収納スペース２０の上方に設けられる真ん中の収納スペースは、仕切り板１４に乾燥機３が載置されて収納される乾燥機収納スペース３０であって、前方の開放部分が一対の扉３１、３１によって開閉できるようになっており、背面側の背板１３に換気用排出孔３５が設けられている。この換気用排出孔３５には建物の壁体Ｗを貫通して設けられた換気扇３６が内蔵されたダクトが接続するようになっている。
【００１５】
天井Ｒに近い最上部の収納スペースは、洗剤や入浴用品等の日用品収納スペース４０であって、前方の開放部分が一対の扉４１、４１によって開閉できるようになっている。

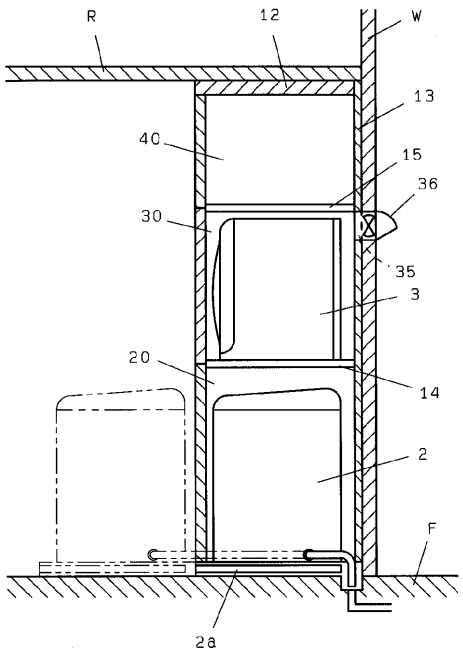
【００１６】
つまり、図１～図２のランドリーユニットでは、洗濯機収納スペース２０に洗濯機２が収納されており、洗濯物を入れたり取り出したりするときに扉２１，２１を開いて洗濯機２全体を前方に引き出して洗濯物の出し入れを行い、洗濯中もしくは洗濯しないときには洗濯機収納スペース２０に洗濯機を収納して扉２１、２１を閉じておく。また、洗濯機２から取り出した洗濯物を乾燥させるときは、洗濯機収納スペース２０の上方に一体に設けられた乾燥機収納スペース３０の扉３１，３１を開いて、乾燥機３の前蓋を開け洗濯ものを乾燥機３内にいれて前蓋をする。洗濯物の乾燥中は洗濯機収納スペース３０の扉３１，３１を閉じた状態で洗濯機の運転を行う。この時、乾燥機３から発生する湿気はダクト内の換気扇３６を運転することにより換気用排出孔３５から建物の壁体Ｗの外側（屋外）へと排出される。
【００１７】
なお、乾燥機収納スペース３０は、図３に示すように側板１１、１１に係止ピン３７・・、３７・・が上下方向に４段取り付けられており、乾燥機３を収納しないときに、この係止ピン３７・・、３７・・に棚板３８、３８を掛けることによって洗剤や入浴用品等を収納することができる。
【００１８】
次に、本発明のランドリーユニットの設置構造を説明する。
図５～図６に示すように、ランドリーキャビネット１の上下３つの収納スペースの前方の開放部分に設けられたそれぞれの一対の扉２１、３１、４１には吸気孔２２、３２、４２がそれぞれ設けられている。また、ランドリーキャビネット１の背面側の背板１３ａには、洗濯機収納スペース２０の上方と下方に排気孔２３、２４がそれぞれ設けられ、乾燥機収納スペース３０の上方と下方に排気孔３３、３４がそれぞれ設けられ、日用品収納スペース４０の上方に排気孔４３が設けられており、背板１３ａと建物の壁体Ｗとの間に通風路Ｓが形成されるように間隙が設けられ、この通風路Ｓが形成さた建物の壁体Ｗに換気扇３６が設けられている。
【００１９】
このようなランドリーユニットの設置構造にすることにより、建物の壁体Ｗに設けられた換気扇３６を運転すると、ランドリーキャビネット１内の乾燥機３の使用中に発生する湿気は、扉２１、３１、４１の吸気孔２２、３２、４２から吸入された空気とともに背板１３ａに設けられた排気孔２３、２４、３３、３４、４３から通風路Ｓを通り換気用排出孔３５から建物の壁体Ｗの外側（屋外）へと排出されランドリーキャビネット１内によどむということがない。
【００２０】
以上、本発明の実施の形態を図面により詳述してきたが、具体的な形態はこの実施の形態に限られものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲における設計の変更等があっても本発明に含まれる。例えば、実施の形態では、天井Ｒに近い最上部の収納スペースに、洗剤や入浴用品等の日用品収納スペース４０を設けたが、図４に示すように、洗濯機収納スペース２０の上方に乾燥機収納スペース３０だけが一体に設けられるようにしてランドリーキャビネットを形成し、日用品収納スペース４０を設けなくてもよい。
【００２１】
【発明の効果】
【００２２】
請求項１記載の発明によれば、ランドリーキャビネットの扉に設けられた吸気孔に加え背板の換気用排出孔、通風路、換気扇によってランドリーキャビネットの各収納スペース内部に空気の通り道ができるので、ランドリーキャビネット内部の湿気を屋外に排出させることができる。
【図面の簡単な説明】
【図１】　ランドリーユニットの参考例を示す正面図である。
【図２】　同上の内部の構造を示す断面図である。

【図３】　ランドリーユニットの他の参考例を示す正面図である。
【図４】　本発明のランドリーユニットの変形例を説明する正面図である。
【図５】　本発明のランドリーユニットの設置構造の実施態様例を示す正面図である。
【図６】　同上の図中Ｅ－Ｅ線による断面図である。
【図７】　従来例を示す斜視図である。
【符号の説明】
１　ランドリーキャビネット
２　洗濯機
３　乾燥機
２０　洗濯機収納スペース
３０　上方の収納スペース（乾燥機収納スペース）
４０　上方の収納スペース（日用品収納スペース）
１３　背板
２ａ　スライド載置台
３５　換気用排出孔
３６　換気扇
２２、３２、４２　吸気孔
２３、２４、３３、３４、４３　排気孔
Ｗ　建物の壁体
Ｓ　通風路

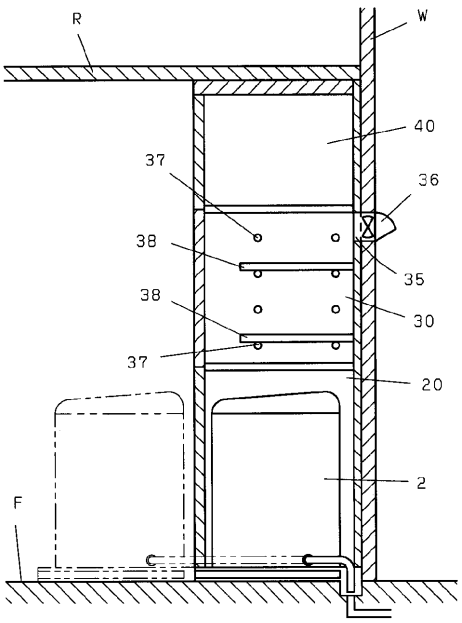
【図１】



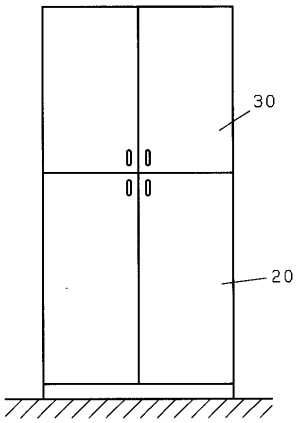
【図２】



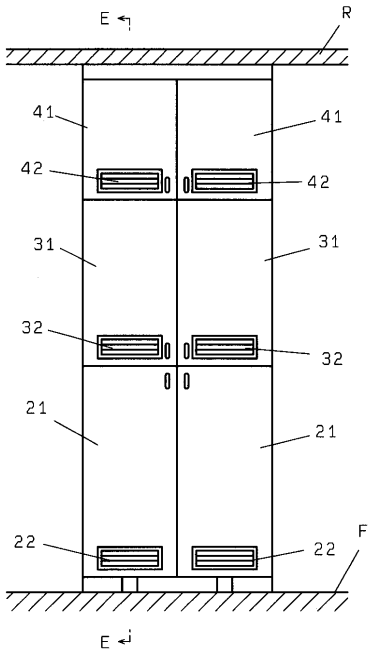
【図３】


R
W
40
37
36
38
35
38
30
37
20
2
F

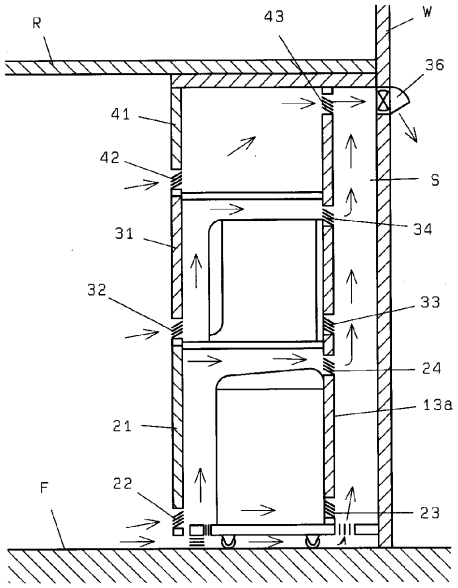
【図４】


30
20

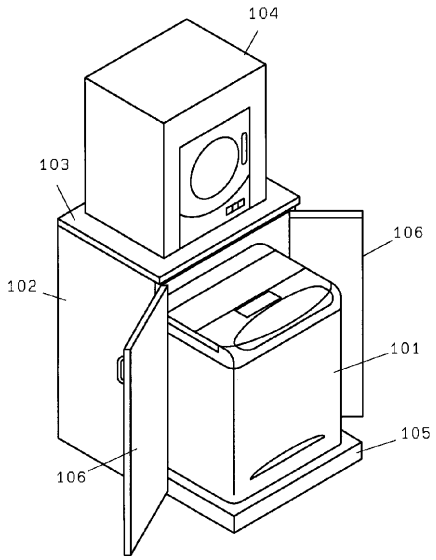
【図５】


E
R
41
41
42
42
31
31
32
32
21
21
22
22
F
E

【図６】


R
43
W
36
41
42
S
34
31
32
33
24
13a
21
F
22
23

【図７】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０７－２７５５６０（ＪＰ，Ａ）
特開昭５０－０９６０６８（ＪＰ，Ａ）
実開平０５－０５６０９８（ＪＰ，Ｕ）
特公昭４９－０３６１８０（ＪＰ，Ｂ１）
特開昭５７－００６６９５（ＪＰ，Ａ）
特開平０４－２００５０５（ＪＰ，Ａ）
実開平０５－０７９３３９（ＪＰ，Ｕ）
特開平０５－２７７０１３（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
D06F 58/18